

2-10

地域の力を施設の魅力に

美大生ボランティアとの魅力ある施設づくりへの挑戦

ボランティア

地域社会との連携

特別養護老人ホーム 清風園

発表者：介護員 前田 啓道	共同研究者：介護員 二見 愛
所在地：町田市金井7-17-13	
TEL：042-735-3000	E-mail： seifu@san-ikukai.or.jp
FAX：042-734-8933	URL： http://www.seifu-en.com/

今回の発表の施設 またはサービスの 概要	社会福祉法人賛育会が母体である清風園は、開設45周年を迎えた、都内でも2番目に古い施設です。現在は、110床の特養に3床のショートステイ、他にデイサービス、グループホーム、訪問看護、訪問介護が併設された複合施設です。
----------------------------	--

〈取り組んだ課題〉 ○ 美大生との協働作業による施設パンフレットの作成。 ○ 新たなボランティアの開拓。 → 似顔絵ボランティアの受け入れ。 ○ 施設内の環境改善のための、作品制作・展示。 ○ 美大生の特色ある感覚・視点の取り入れ。 〈具体的な取り組み〉 ○ 近隣の学校をめぐる中で、ボランティアの受け入れの関係を築く。 ○ 施設パンフレットを協同作成。 ・ パンフレット作成の学生ボランティアを美大生に呼びかけ、デザインの作成を依頼、月一回の合同会議を実施。 ・ コンセプトを表現する為の写真撮影を学生と共にを行い、選出した。 ・ 学生に編集・レイアウトを依頼し、パンフレットデータを作成した。 ○ 年2回の似顔絵ボランティアの受け入れ。 ○ 美大の学生の作品を園内に展示し、施設内の環境改善を行った。 ○ ご利用者の社会参加のための美大学園祭への訪問等の交流づくり。	〈活動の成果と評価〉 ○ パンフレットの作成にボランティアとして関わっていただいたことにより、異なる新しい視点（センス）を取り入れることができた。 ○ 絵画や彫刻などの作品の新たな魅力により、施設内に彩りを生み出すことができた。 ○ 似顔絵ボランティアを通じて、美大生のコミュニケーション能力の向上につながった。 ○ 授業とは違う新たな場所での経験により、美大生の作品制作への意識改革につながった。（他者を意識した作品制作の視点が得られた） ○ 3年間のさまざまな関わりにより、ボランティア活動による学生の単位取得が認められた。 ○ 異なる分野の学生に施設を知ってもらうことにより、高齢者福祉に興味を持ってもらう機会になった。 ○ ご利用者が学園祭に訪問するなど、地域との関わりが深まった。 〈今後の課題〉 ○ 美大生の特色をさらに活かした関係づくり。 ○ より幅広い分野の資源を開拓するため、さらなる地域社会との交流を図る。 ○ ボランティアの参加意欲を継続できる受入れの体制作り。
---	--

【メモ欄】